

機関番号

32657

## 平成26年度「大学教育再生加速プログラム」申請書

1. 設置形態	3	私立	2. 学校種別	1	大学
3. 大学名	東京電機大学				
4. 所在地	〒	120-8551	住所	東京都足立区千住旭町5番	
5. テーマ	テーマ I・II 複合型				
6. 申請者 (学長等)	(ふりがな) 氏名	ふるた 古田	かつひさ 勝久	職名	学長
7. 事業者 (大学等の設置者)	(ふりがな) 氏名	かとう 加藤	やすたろう 康太郎	職名	理事長
8. 事業担当者	(ふりがな) 氏名	しおつき 汐月	てつお 哲夫	職名	教授
9. 共同申請校	該当なし				
10. 学部等名 (学生が所属する全ての 部局名を記入)	工学部、工学部第二部、理工学部、情報環境学部、未来科学部				
	総	入	学	定	員
	1,950				

11. 学校教育法施行規則第172条の2第3項において「公表するものとする」とされた教育研究活動の状況についての情報のHP等における公表の有無	有
---	---

12. 事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度 ( 5 年間 )
----------	------------------------------

13. 申請経費						
年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合 計
申 請 額 (単位千円)	11,200	17,000	15,000	9,000	9,100	61,300

#### 14. 事業の概要(※400字以内)

本事業は、教育改革、教員力向上、学生支援を一体的に企画・運営する、学長主導の「“学生第一”の一体化支援機構」の中で、本学がこれまで構築してきたPDCAの教育枠組をベースに、技術で社会に貢献する技術者に必須の知識・能力を修得させる教育体制構築のため、下記4点に注力して実施するものである。本事業は未来科学部の活動を基とし、この事業を統括する戦略会議を通じて成果を全学に普及させる予定である。

(教育枠組) PDCAサイクル実質化のため、米国のVALUEルーブリックを参照した、汎用的能力の定量的評価ができるルーブリックを開発・普及

(教育枠組) 授業外学修時間増加のための反転授業導入とその運用手法の開発・普及

(教育内容) 教育目標としての知識・能力を学生に効果的に修得させられるPBLおよびアクティブ・ラーニング手法の開発・普及

(教員教育力) 教員教育力向上のための教員評価制度と個人別指導制度の構築

387.5文字